

現在重量：	0		
最大重量：	16	所持金：	預金・借金：

[illegible]

一般は否定

狩人の家に生まれ平穏な人生を送っていたある日、親から告げられる衝撃の事実。

—お前は、本当は、私たちの子供ではないのだ—
ショックだった。

いきなり世界でたったひとりの孤独な奴になってしまった気分だった。

いや、もともとおかしいと思っていたんだ。

両親は狩人。

育ったのは人里離れた森の中。

遊び相手は動物や虫たち。

両親以外の人になんか会ったことなんかなかった。

人間たちがちょうど成人するような頃、やっと僕は自分の本当の姿を知った。

“サハギン”そういう種族らしい。

失意のうちにいた僕を両親は励ましてくれた。

—たとえ、私たちと血が繋がってなくても、家族なんだよ—

それから100番目の太陽が昇ったあと、僕は旅に出た。

自分と同種を見つけるために。自分の本当の生みの親を知るために。

意外とあっさり見つかった。

すごい、近くにいた。

距離にして100kmほどだ。

そして、そこでの常識を知った。